

MIDIについて

MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

■ MIDI端子の種類

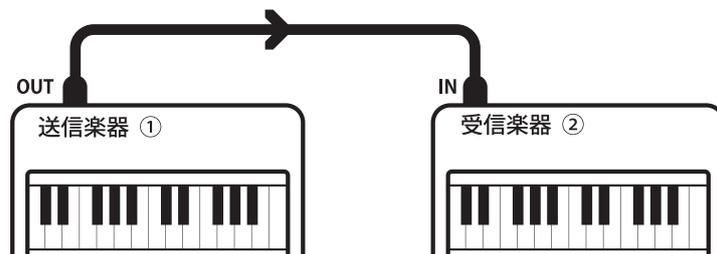
MIDI 端子には、IN、OUT の2つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

MIDI端子名	機能
IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

■ MIDIチャンネルについて

MIDIにはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常MIDI機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。



例えば2台の楽器を次のように接続して演奏するとします。

送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②に送ります。

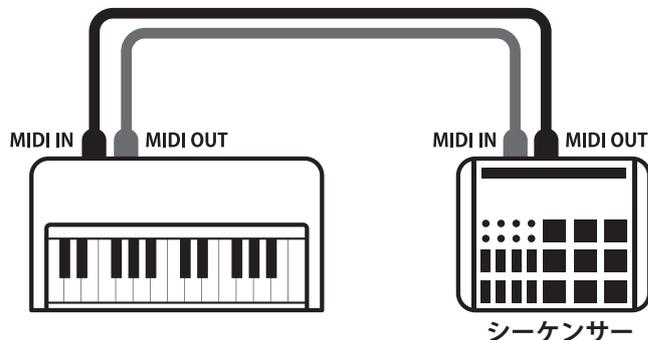
受信楽器②には①からの情報が送られてきます。基本的には 受信楽器②の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信 / 受信とも1～16までの番号を使用することができます。

MIDIについて

■ MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、CA58の演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、CA58の設定をマルチティンバーオン(P.6参照)にして録音/再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。



■ CA58のMIDI機能

CA58のMIDI機能は以下の通りです。

鍵盤情報の送信・受信

CA58を弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

送信・受信チャンネルの設定

送信受信チャンネルを1～16の範囲で設定することができます。

プログラム(音色)ナンバーの送信

CA58を弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON/OFF情報の送信・受信ができます。

ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、CA58の音を出しているとき、シンセサイザーでCA58の音量をコントロールすることができます。

マルチティンバーの設定

CA58が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

エクスクルーシブデータの送信・受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

レコーダーの再生情報の送信

レコーダーに録音した演奏をMIDIで接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

CA58のMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」(P.8)をご覧ください。

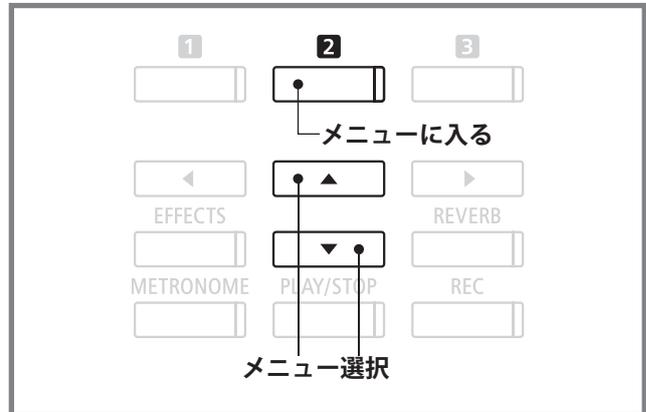
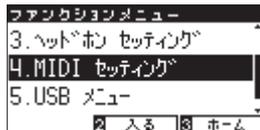
著作権について

市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFファイルなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること以外は著作権法上、権利者に無断で使用できませんので十分注意をお願いします。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

MIDIセッティング

MIDIセッティングへ入る

[2:メニュー] ボタンを押して設定メニューに入ります。[UP / DOWN] ボタンを押すごとにメニューが切り替わりますので、「MIDI セッティング」を選んで[2:入る] ボタンを押します。MIDIセッティングに入った後[3:もどる] ボタンを押すと、設定メニュー選択画面に戻ります。



1 MIDI送受信チャンネル

CA58では1～16までのチャンネルを設定することができます。設定したチャンネルが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

1. MIDIセッティング / MIDI送受信チャンネルの設定に入る

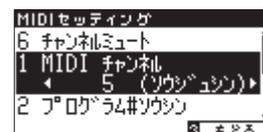
MIDIセッティングに入り[UP / DOWN] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「MIDI チャンネル」を選びます。



2. チャンネルを設定する

[LEFT / RIGHT] ボタンを押すとチャンネルの値を「1～16」の間で設定できます。

値を選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。



■ オムニオン / オムニオフについて

CA58は電源オン時には、1～16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから1に戻してください。

■ マルチティンバーモードがオンのとき

スプリット演奏時

低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。

例えばここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

デュアル演奏時

第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。

(ただし、チャンネルを16に設定した場合は、1チャンネルで送信します。)

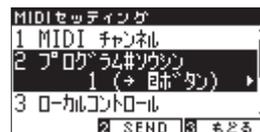
MIDIセッティング

2 プログラムナンバー送信

CA58では1～128までのプログラムナンバーを送信することができます。

1. MIDIセッティング/プログラムナンバー送信の設定に入る

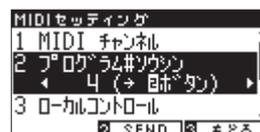
MIDIセッティングに入り[UP / DOWN] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「プログラム#ソウシン」を選びます。



2. プログラムナンバーを選択し送信する

[LEFT / RIGHT] ボタンを押すとプログラムナンバーを「1～128」の間で設定できます。

[2:SEND] ボタンを押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。



送信したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3 ローカルコントロール

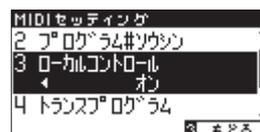
このモードは本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。

ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけでMIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。

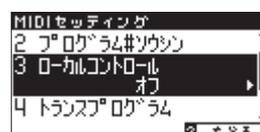
1. MIDIセッティング/ローカルコントロールの設定に入る

MIDIセッティングに入り[UP / DOWN] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「ローカルコントロール」を選びます。



2. ON / OFFを設定する

[LEFT / RIGHT] ボタンを押すと「オン/オフ」が表示されます。「オン」が「オフ」を選択したら、音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。



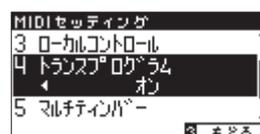
MIDIセッティング

4 プログラムナンバー送信のON / OFF

CA58では音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧(CA58取扱説明書 P. 126)をご参照ください。また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアルのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

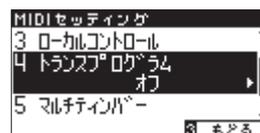
1. MIDIセッティング / プログラムナンバー送信のON / OFFの設定に入る

MIDIセッティングに入り[UP / DOWN] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「トランスプログラム」を選びます。



2. ON / OFFを設定する

[LEFT / RIGHT] ボタンを押すと「オン / オフ」が表示されます。「オン」が「オフ」を選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。



■ デュアル・スプリットモードのときについて

デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン / オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。

マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

MIDIセッティング

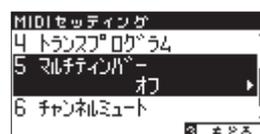
5 マルチティンバーモード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル(1~16のどれか1つ)で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。(受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧(CA58取扱説明書 P. 124)をご参照ください。)

この機能により、外部にシーケンサーを使って、1台で複数の音色(マルチティンバー)によるアンサンブル演奏が可能です。

1. MIDIセッティング/マルチティンバーモードの設定に入る

MIDIセッティングに入り[UP / DOWN] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「マルチティンバー」を選びます。



2. オン1・オン2・オフを設定する

[LEFT / RIGHT] ボタンを押すと「オン1 / オン2 / オフ」が表示されます。

「オン1」か「オン2」、「オフ」を選択したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。



オン1・オフのとき

CA58取扱説明書 P. 124「各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」の左側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

オン2のとき

CA58取扱説明書 P. 124「各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」の右側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

また、受信チャンネルごとに発音のオン/オフを設定することができます。(チャンネルミュートP.7参照)

マルチティンバーモードがオンのとき、スプリット演奏中でも各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで鳴ります。

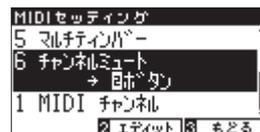
MIDIセッティング

6 チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、有効な設定です。各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

1. MIDIセッティング/チャンネルミュートの設定に入る

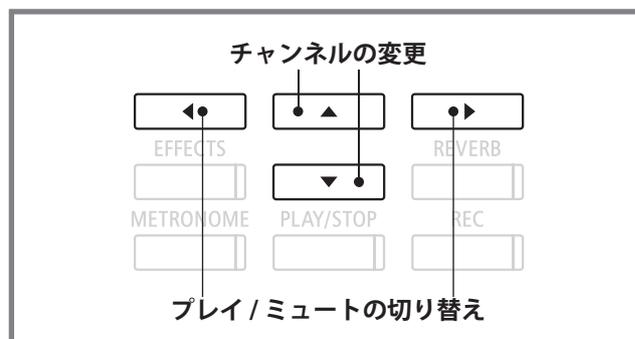
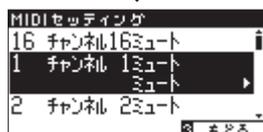
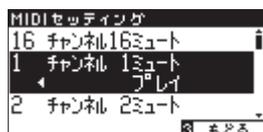
MIDIセッティングに入り[UP / DOWN] ボタンを押すとメニューが切り替わりますので、「チャンネルミュート」を選びます。



2. 各チャンネルのプレイ・ミュートを設定する

[2:エディット]ボタンを押すと各チャンネルが表示されます。
[UP / DOWN]ボタンでチャンネルを選択し、[LEFT / RIGHT]ボタンを押すと、「プレイ」または「ミュート」が切り替わります。

設定が終了したら音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。



MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシックチャンネル	電源ON時	1	1	
	設定可能	1～16	1～16	
モード	電源ON時	モード3	モード1	** 電源ON時オムニオン。MIDIチャンネル設定操作によりオムニオフ。
	メッセージ	×	モード1,3**	
	代用	*****	×	
ノートナンバー		21 - 108*	0 - 127	* 9-120 トランスポーズを含む。
	音域	*****	0 - 127	
ベロシティ	ノート・オン	○	○	
	ノート・オフ	○	○	
アフタータッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロールチェンジ	0,32	○	○	バンクセレクト
	7	×	○	ボリューム
	10	×	○	パンポット
	11	×	○	エクスプレッション
	64	○(右ペダル)	○	ダンパー
	66	○(中ペダル)	○	ソステヌート
	67	○(左ペダル)	○	ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○(0 - 127) *****	○(0 - 127)	
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカルON / OFF	×	○	
	オールノートオフ	×	○(123～127)	
	アクティブセンシング	×	○	
	リセット	×	×	
備考				

モード1:オムニオン、ポリ
モード3:オムニオフ、ポリ

モード2:オムニオン、モノ
モード4:オムニオフ、モノ

○:有り
×:無し